



小学校では、個々の考えを表現し合い、互いに追究し合う学びを重視 市内小学校の授業研究会より

11月中は、各小中学校で行われている授業研究会に、事務局として参加させていただきました。時間の都合で、授業だけ拝見した学校もあり大変失礼を致しましたが、各学校で課題を設定し、授業のあり方を熱心に研究されている姿に、大変感銘を受けました。

また、学習者の立場から、授業の展開や発問を検討していく研究会での先生方のご発言にも、義務教育の先生方のこれまでの授業研究で大切にされてこられた「積み重ね」を感じました。

強く印象に残ったのは、どの小学校においても、子どもたちが自ら考え、その考えを発表し、互いに追究し合う学びを重視していることでした。中学校でも、そのことは引き継がれていました。このような学びは、近年、課題とされているPISA型の思考力・活用力の育成につながるものとして重要であると考えられます。また、何よりも子どもたちのいきいきと、楽しそうに学ぶ姿勢を大事にされていることが伝わってきました。

7月の「つまずき・学習意識調査」の報告書でも、このような授業を大切にしながら、知識・技能面の習熟の指導を相互補完的に行っていくことを提案致しました。これらを二律背反的にとらえず、総合的な力を育てていく指導のあり方を求めて行きたいと思えます。

全国学力調査 A問題との関連は家庭学習因子、B問題との関係は組織的なきめ細やかな指導因子の影響が大きい？

全国学力調査において、何が都道府県の差をもたらしているのか、その指導体制や指導方法を次の5つの観点から分析した結果が「月刊 高校教育」の12月号に報告されており、興味深かったので紹介します。

- ①家庭学習指導因子…宿題を与えたか。評価・指導を行ったか。
- ②組織的なきめ細やかな指導…学級全員で取り組むべき課題を与えられているか。子どもたちの様々な考えを引き出したり、思考を深める発問や指導をしているか。子どもの発言や活動時間を確保して授業を進めているか。学習規律の維持を徹底しているか。学習方法の指導をしているかなど。
- ③学力テストの活用…過年度の学力調査を学校全体で活用したか。指導計画に反映させたかなど。
- ④「活用」「発展」対応…調べたり、発展的に考える課題を与えたりする学習指導を行ったか。
- ⑤習熟度別・少人数指導…習熟度の遅いグループに少人数指導をしたか。習熟度の早いグループに発展的な指導をしたか。

学力調査の上位5県と低位5県の指導の違いを比較した結果、A問題の達成水準とより関連が深かったのは、家庭学習因子であり、宿題の出し方や評価・指導の仕方、個別指導などが大きく影響する傾向にあった。一方、B問題とより関連が深かったのは、組織的で決め細やかな指導因子であり、授業のあり方そのものが結果に反映してくる傾向があったようです。

ただし、県内の地域性や、学校や学級ごとの特性が無視されているため、1つの参考であるという補足つきではありましたが、指導法を研究していく上で参考になると思われまます。

「学力差への対応」「宿題の出し方」で困っている先生方が多い！⇒ホームページで必要な情報を提供！

9月に、各校へお願いした算数・数学の授業等に関するアンケートの結果をみると、講座編成の仕方や週当たりの授業時間が学校によってそれぞれ違いがあることが分かりました。また、授業で困っていることとしては、「学力差への対応」と「宿題の出し方」という回答が多くありました。

「学力差への対応」については、講座編成や授業プリント、宿題プリント等で対応している例があります。また、「宿題の出し方」についても、工夫されている実践例がありますので、それを紹介し、工夫についての情報交換をしていきたいと思います。また、中高交流学力向上のホームページを開設しました。仮のサーバー利用のため、データのアップ状況がまだ不十分ですが容量が確保でき次第、学習プリントや宿題プリントをアップします。

現在のURLは <http://homepage2.nifty.com/jinta4/> です。



飯山小5年生の授業
←自分の考えをカードに書いて黒板に貼り、このあと説明。
↓アイデアの分類

↑自分の考えをカードに書いて説明。
↑互いに考えを発表し合い、話し合う。
東小4年生の授業より

(月刊高校教育 12月号より)

市内小中学校の授業等に関するアンケートより

学校	講座編成		週の時間数			困っていること										
	クラス別	少人数	習熟度	T	4h	5h	指導方法	学力差対応	教材研究時間	教材研究方法	生徒指導	板書方法	机間支援	発問方法	宿題の出し方	その他
3 中学	A中		○	○		○			○					○		
	B中		○	○		○			○					○		
	C中	2を3							○							
小学6年	D小	○				○			○							○
	E小	3を4				○			○							○
	F小		○		○				○							
	G小	1を2				○			○							
	H小			○		○			○							
	I小						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
J小	2を3					○		○								
K小	○					○										

しばらく休んでいたIC通信を12月より再開します！